

簡易郵便局を訪ねて 102

英虞湾の入り江、地域のために末永くあり続ける

はまじまはさこ
浜島迫子簡易郵便局（三重県志摩市）



局長
岡野 喜浩

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は一九六二年に農協が受託者となり、郵便を中心とした窓口として開局しました。農協は合併の繰り返りで、二〇〇七年には郵便の事務取扱をやめることとなり、同年の一月から二月に新しい受託者の募集が行われました。そして五月に、長く農協に勤めていた私の前の局長さんが個人受託者とな

って事務取扱を開始しました。

その後、前局長さんから交代してほしいとの話があり、当時私は郵便局を退職し家業の手伝いをしていたのですが、局を利用する方も多いし、地域の拠りどころとして簡易局を続けた方がいいのではないかとこの思いから、浜島迫子簡易局を引き継ぐことを決めたのです。



浜島迫子簡易郵便局外観



簡易局の隣の入り江

受託者変更手続きを終え、二〇一四年に局長となり、現在に至って



英虞湾の養殖場

います。目の前はリアス式海岸で、英虞湾に岸として有名です。すぐ隣

が入り江になっているのが当局の特徴です。英虞湾はおおさのりの養殖が盛んですので、局の前の養殖場でもまるで緑のじゅうたんのよう

に豊かに育っています。私の趣味は蕎麦打ちなので、この趣味を生かして地元の公民館で蕎麦打ち体験を開催しています。最近

は新型コロナウイルスの影響でイベントが開催できないので残念です。

また、家業は筏釣りで、現在も早朝より出船しながら局の仕事もしています。年一回夏休みの時期には、地域の子どもたちのために筏釣り体験も開催しています。最近



出船の様子

局を利用される方は地元の高齢の方が多いです。野菜を作ったので、離れて暮らしている家族にゆうパツ

クで送るんだと当局に來られたり、振込などをご利用いただいています。皆さん顔見知りなので、これからもご利用いただいている皆さんのために、末永くあり続けたいと思っています。

住所 〒517-0403 三重県志摩市浜島

町迫子四六一

